

野村小学校地域懇談会ニュース

「第4号」

平成23年2月7日発行

4回目の野村小学校地域懇談会が開催されましたので、その概要を野村小学校の学区内にお住まいの皆様にお知らせします。

日時：平成22年12月21日（火）19：00～21：00

場所：野村コミュニティ・センター 1階ホール

次 第

1. アンケート結果の報告について
2. 地域コミュニティについて



《今回の懇談会では》

「地域コミュニティ」については、懇談会委員の中の保護者会から選出された委員が意見を述べることで、進行もPTA会長に務めていただき話し合いを行いました。

1 アンケート結果の報告について

野村小学校を卒業した中学生と高校生を対象に行ったアンケートの結果について、教育委員会から説明がありました。アンケートは、平成22年11月5日に過去6年間の野村小学校卒業生に郵送しました。

(1) 回収数（回収率）：卒業生52名のうち21名より回答（40%）

(2) 中学生（高校生）になり、野村小学校での学校生活を振り返ってみて、よかったなと思うことは何ですか。当てはまるものに○をしてください。（複数回答可）

主な回答

- ・少ない人数のクラスだったので、友達と仲良くできたから（18人）
- ・1年生から6年生まで兄弟のように仲良く学校生活を送れたから（17人）
- ・少ない人数だったので先生に親切ていねいに教えてもらったから（14人）

学校生活を振り返ってみて、よかったなと思うこと

自由記述（抜粋）

- ・野外活動で、人数が少なかったため、2年に分けて海、山に行けたのが自慢でできたいい体験になったから。

(3) 中学生（高校生）になり、野村小学校での学校生活を振り返ってみて、困ったなと思うことは何ですか。当てはまるものに○をしてください。（複数解答可）

主な回答

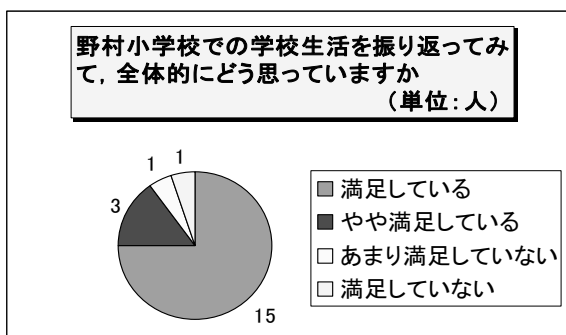
- ・少ない人数のクラスだったので、競争力に欠けていたと感じるから（10人）
- ・少ない人数で学校生活を送ったので、大勢の中に溶け込むことになじめなかったから（7人）
- ・人数が少なかったため、クラス替えがなかったから（6人）

学校生活を振り返ってみて、困ったなと思うこと

自由記述（抜粋）

- ・人数が少ない分、家が近い人も少ないことなど。

- (4) 野村小学校での学校生活を振り返ってみて、全体的にはどう思っていますか。当てはまる番号に○を付けてください。



満足している、やや満足していると答えた方

(18人)の主な理由(抜粋)

- ・中学校の大人数に比べて、小学校で少人数だったので、授業のとき先生に質問などをしやすかった。
- ・人数が少なかったため、学年関係なく、みんなであそび、のびのびすごせたから。

あまり満足していない、満足していないと答えた方

(2人)の主な理由

- ・嫌な思い出が多いから
- ・人がすくなかったから



- (5) その他、中学校(高校)生活において、野村小学校出身ということでよかったことやうれしかったこと、また困ったことや悩んだことなどがあればお書きください。感想でもけっこうです。(抜粋)

- ・学芸会も運動会も保護者の方や地域の方も一緒に楽しみました。
- ・自然に満ちた小学校で自然にいっぱい触れてとてもいい経験だったと思います。
- ・すぐに先生がくわしく答えを教えてくれるなどの教育もしっかりしている。
- ・友達ととても仲良くなれたことなどがありました。
- ・野村小学校での生活において少人数の中でのよかった思い出が様々ありました。
- ・大人数の中にすぐになじむことが出来なくて辛いと思ったことも結構ある。
- ・中学校に入学したばかりの頃、人数が多くて周りの人とどうやって接すればいいのか分からず友達ができませんでした。



2 地域コミュニティについて

地域コミュニティについての意見交換に先立って、地域コミュニティと学校の役割という視点から、2つの資料について教育委員会より次のとおり情報提供がありました。

資料2

○野村小の学区や周辺小中学校の学区を示した図です。野村小学校区において、野村町内会と上谷刈西部町内会をそれぞれ便宜的に二つのエリアに分けて4つのエリア(A-1, A-2, B-1, B-2)としたものです。この4つのエリア内の児童・生徒数を示した表が右下の「野村小学校区内の児童・生徒数」(平成22年度)になります。



資料3

○野村小学校と地域のかかわりを示した資料です。野村小学校の周辺には、子どもたちが通学している三つの中学校や、野村コミュニティ・センターなど地域コミュニティの活動の場があります。また、野村小学校を支えている野村教育後援会や子ども会育成会など様々な組織があります。さらに、学校行事では、地域の方々の協力を得て行っている田植えや稲刈りなどがあり、地域の行事では夏祭りや敬老のつどいなどが行われています。

3 委員の意見（抜粋）

（１）アンケート結果の報告について

- ・アンケート結果に対して、教育委員会が進めていこうとしていることは適正なのですか。
→子どもたちのよりよい環境を考えた時に、学校に一定規模を確保することは子どもたちの可能性を広げるうえで必要だと思っています。
- ・アンケート結果と教育委員会が考えている教育環境や統合がリンクしないと思いました。教育委員会としては、結果について期待外れだったと考えているのでしょうか。
→小学校生活にはとてもいい思い出がたくさんあると考えていたので、このような結果になるのではないかと考えていました。また、学校生活は楽しいものなので、デメリットの部分については、あまり出てこないと思っていました。
- ・回収率が80%、90%になってもこのような結果だったと思います。この結果を踏まえ、一定規模を確保したらどのようなもっといい結果が出てくるのでしょうか。
→児童数によるメリットの話になりますが、グループ学習などで、グループが3つや4つあって、そのグループが発表しあっているところを聞きながら自分で判断したり、表現したりすることができるようになります。



（２）地域コミュニティについて

- ・団地内にある学校とは違い、教育環境のいい場所でありながら家が少ない、マンションも建たない、子どもが増えない、何もできないというのはすごく残念です。このようないい地域を今後発展させていくということが一番大切なのではないかと思います。
→都市計画において市街化区域を拡大しないという方針を出しているのので、子どもが増える、あるいは住宅地が増えて人口が増えるというのはなかなか見込めない状況です。（教育委員会）
- ・今後の野村をどのようにしていくか野村自身で話し合っていけば、野村地区自体も変わるだろうし、子どもたちが増える可能性もあるので、人口が増えないことはないと思う。野村地区を取り巻く環境が今後どうなるかわからないので、今学校をなくしてまで統合をする必要はないと思っています。
→市街化区域に編入されれば促進されると思いますが、現在はそのような状況にはないという話をさせていただきました。仮に市街化区域に編入された場合であっても、一学年2クラスを確保できるだけの人口増加は難しいのではないかと思います。（教育委員会）
- ・野村小を中心に体育振興会、保護者会、教育後援会、子ども会育成会などの組織がすごくよい地域活動を行っていて、運動会などの行事もすごく楽しいものがある。統廃合したら確実に地域が破壊される。そういう小規模校のよさや地域とのかかわりを壊してまでも統廃合は進めるべきものなのではないでしょうか。
→地域を壊すとは全然考えていませんが、統合の場合、学校で結ばれていた地域コミュニティの再編成はあると思います。子どもが減っていくと町内は元気や勢いはなくなりがちになります。地域コミュニティを維持していくことも大事ですが、新しい枠組みでやっていくことも大事だと思いますし、新しい文化の中でコミュニティがさらに元気になることもあると思います。（教育委員会）
- ・野村小がなくなれば、生活センターや児童館もない中で子どもたちはどこに集まればいいのか。新しいものを発見しようというのではなく、こうしますという提案がなければ納得なんかできない。
- ・教育のことを考えて言っているのは分かるが、はっきり言ってそれでは進まない。教育だけではだめなのです。生活が一番です。この地域の生活があって教育があるということを考えて、この野村地区を全体的なスタンスで見えていかないとだめだ。

(3) 指定校変更許可区域について

- ・指定校変更で加茂小などへの通学を認めていたら野村小の学区はなくなってしまうと思うが、指定校変更許可区域の設定はいつ頃だったのでしょうか。
→関係する町内会や子ども会などの同意がなければ変更許可区域としては設定していません。設定された時期については調べられる範囲で調べます。(教育委員会)
- ・野村は家が少なく、子どもを入学させようとする人からみれば不安だと思うので、指定変更許可区域について、周りの団地から野村小にも行けるようにしたら、子どもが増えるのではないか。
→仮に周りの団地を許可区域にするとすると、他の学区の町内会や子ども会などの人たちが、両校に行けるようにしたいという話になった場合可能となります。ただし、相手のある話なので難しいのではないかと思います。(教育委員会)

(4) 学区について

- ・菅間地区には以前野村小学区だった地域があるが、いつ頃なぜ七北田小学校区になったのか。
- ・市名坂小と七北田小の関係で学区線を引き直したのであれば、そのときに教育委員会から野村の町内会に話を持ちかけたのだと思う。そこで町内会が了解したのであれば仕方がないが、まるっきり知らないうちに学区線が引き直されたのであれば、ただ今のような質問が出てくる。
→七北田小と野村小の学区については、何か原因がなければ基本的に区域は変えないはずなので、市名坂小をつくったときに、七北田小学区と野村小学区も含めて、市名坂小をどのような学区にしようかと考えたのではないかと思います。学区の設定については、一般的に学区問題研究会を設置し、地域の人たちと話し合うはずなので、その中での議論の経過などが資料として残っていればはっきりするのではないかと思いますので、調べられる範囲で調べます。(教育委員会)

(5) その他

- ・野村小学校の隣にある旧給食センターの跡地はあのままなのですか。
→旧給食センターの跡地は、調整区域なので何かを建てることはできません。今は文化財課で発掘したものを一時的に保管しています。壊した後に何かを作るという計画はない状況です。(教育委員会)

【第5回野村小学校地域懇談会の開催日程】

日 時：平成23年3月24日（木）午後7時から
場 所：野村コミュニティ・センター 1階ホール
内 容：地域コミュニティについて

※ 地域にお住まいの皆様は地域懇談会を傍聴することができます。(第4回地域懇談会では1名の方の傍聴がありました)

なお、傍聴される方は発言をご遠慮いただくことになりますので、ご意見のある方は書面等により承ります。



どのようなことでも結構ですので、ご意見がありましたらぜひお寄せください。





事務局：仙台市教育委員会 学校規模適正化推進室
電話：214-8432 FAX：264-4428
Eメール：kyo019031@city.sendai.jp

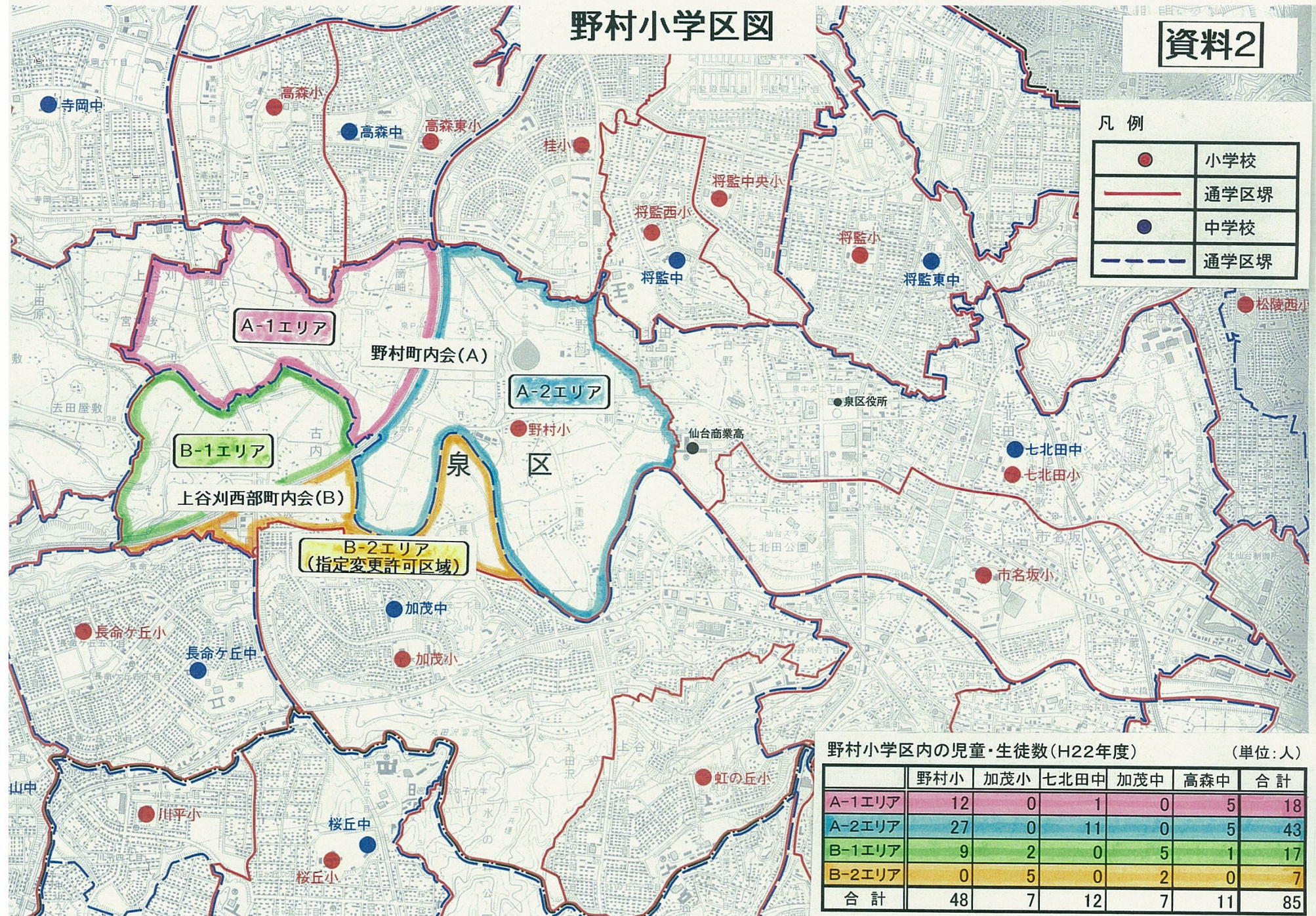
取組み内容はホームページでもご覧いただけます

仙台市教育委員会 一定規模確保

検索

資料2

	小学校
	通学区堺
	中学校
	通学区堺



野村小学区内の児童・生徒数(H22年度) (単位:人)

	野村小	加茂小	七北田中	加茂中	高森中	合 計
A-1エリア	12	0	1	0	5	18
A-2エリア	27	0	11	0	5	43
B-1エリア	9	2	0	5	1	17
B-2エリア	0	5	0	2	0	7
合 計	48	7	12	7	11	85

野村小と地域のかかわり



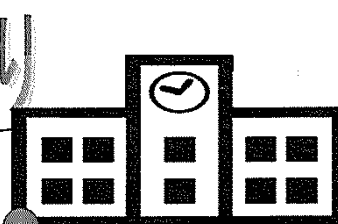
高森中

組織や委員

- ・学校評議員
- ・学校関係者評価委員会
- ・学校保健委員会
- ・民生委員、児童委員
- ・交通指導隊
- ・学校ボランティア防犯巡視員
- ・社会学級(活動休止)
- ・地域ぐるみ推進協議会
- ・学童農園

施設開放

- ・施設開放運営委員会
- ・利用各種団体
 - 野村ジュニアドラゴン
 - 仙台西部リトルシニア
 - 高森シスターズ(バレー)
 - 加茂ミニバスケットボール
 - ソフトバレーボール愛好会



コミュニティーC



学校行事

- ・入学式(4月) ・授業参観(4月)
- ・田植え(5月) ・運動会(5月)
- ・野村っ子まつり(7月) ・稲刈り(9月)
- ・授業参観(10月) ・老人介護施設等訪問(10月)
- ・学芸会(11月) ・校内図工展(12月)
- ・おにぎりパーティー(12月)
- ・書きぞめ展(1月) ・授業参観(2月)
- ・卒業式(3月) ・子どもを守ろうデー(毎月)



七北田中



市民C

地域の行事

- ・夏祭り(8月:青年会主催)
- ・地区防災訓練
(8月:町内会)
- ・インリーダー研修
(9月:子ども会育成会)
(野村小・実沢小
・福岡小・根白石小)
- ・敬老のつどい
(9月:社会福祉協議会
・婦人防火クラブ)
- ・どんと祭(1月)



加茂中

体育振興会

保護者会

野村教育後援会

子ども会育成会

将監地区防犯協会

スポーツ少年団

野村青年会

古内青年会

老人クラブ

野村ふるさと環境保全会

野村上谷刈西連合町内会(野村町内会・上谷刈西部町内会)